八郷広報

発行所
八郷町役場
茨城県新治郡八郷町
大字柿岡2009
電話 4番・104番
印刷所
石岡市守木町
飯島印刷所

戸数と人口（2月末）

世帯数		5,727
人口	男	16,152
	女	16,855
	計	33,007

新農村建設 特別助成事業完成

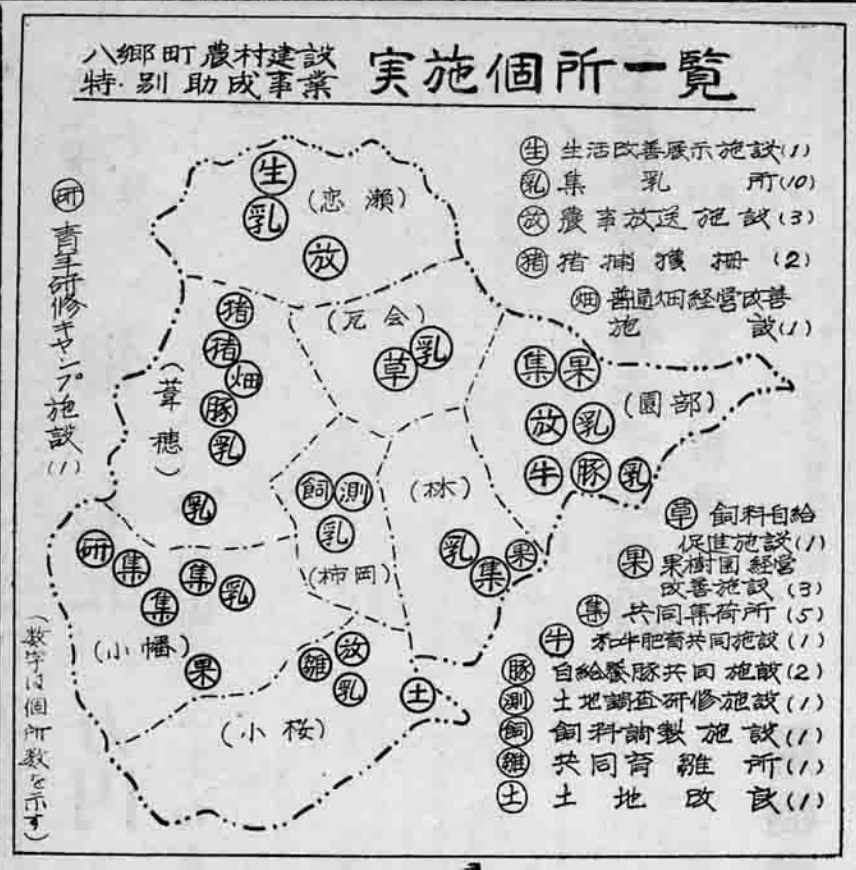
十五種目 三十四カ所 補助金 八〇〇万円をうける

わが町では、去る昭和三十一年七月、農林省の新農村建設総合対策による農村振興特別助成の指定をうけ、三十一三十二の二カ年にわたつて、特別助成事業を中心とする農村振興計画をすすめていたが特別助成事業は、この三月一ぱいで一応完了することになるので、三十三年度からはひきつづき町の自力で振興計画を推進する。

この二カ年間に実施した特別助成事業はつぎの一覧図のように、十五種目三十四施設で、その内訳は有畜営農に関する施設一六、共同集荷所五果樹園施設三、農事放送三、猪捕獲柵二、その他各々一となつており、事業費の総額は約二千万円、そのうち約八百万円は政府補助をうけることになつている。

これらの施設はどれも当面わが町の農業の進むべき方向を示しているものであつて、農村振興に大きな役割りをもつことは言うまでもない。以下各施設の概要を紹介して十分な活用をお願いする。

八郷町農村建設特別助成事業 実施個所一覧

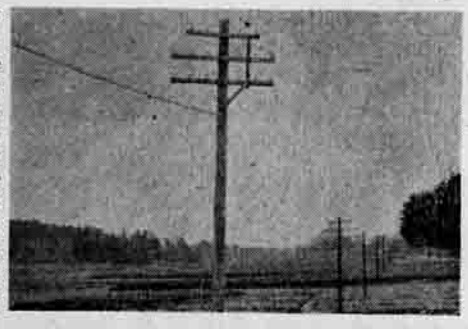


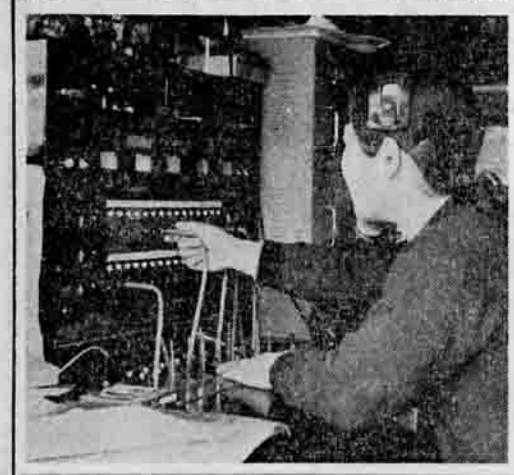
三農協に農事放送

農事放送施設は、足や文書の回覧などによつた不便な農村の連絡を、近代的な有線放送による連絡にあらためて、農業に関する経営および技術の改善や、生活改善その他の事がらを随時適切に一せい放送によつて連絡普及し、農業の振興と農村生活の向上をはかろうとするものであるが、電話連絡によつて加入者お互に通話も出来るので、農村文化施設の花形として、どこでも非常に歓迎されているが、当町ではつぎの三農協が施設した。

○園部農協＝加入者五八二戸 事業費三三三万円。
○小桜農協＝加入者四六八戸 事業費精算中。
○恋瀬農協＝加入者五〇六戸 事業費精算中。

農事放送の電線





（下）農事放送施設本部放送室

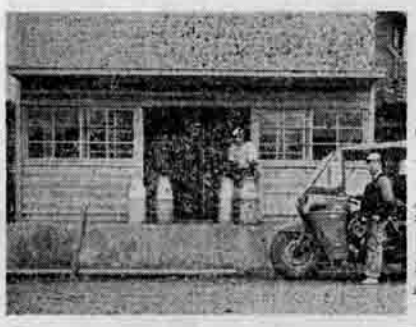
林農協も計画中

林農協では、最近になつて三十二年度の特別助成事業として、農事放送施設を実施できる見込みがたつたので、目下大急ぎで計画中だが、順調にすすめば六月頃は開通出来る見込み。

集乳所は十カ所に新設

集乳所は乳質の保全と、有利な販売のために造られるもので、当町では特別助成事業で、つぎの十カ所に新設されたが、いづれも冷却用水槽と電気揚水施設及びはかりを備付けており、事業費は十五万～二十四万円程である。

❶柿岡集乳所＝柿岡酪農組合が柿岡農協構内に新設。
❷小幡集乳所＝小幡農協が構内に新設。
❸吉生集乳所＝芦穂農協が大字吉生辻部落に新設。
❹芦穂集乳所＝芦穂農協が農協構内に新設。
❺大増集乳所＝大増酪農組合が大増部落に新設。
❻瓦会才一集乳所＝瓦会農協が農協構内に新設。
❼園部才一集乳所＝園部農協が農協構内に新設。
❽東山崎集乳所＝東山崎酪農組合が東山崎部落に新設。
❾林集乳所＝林農協が農協構内に新設。
❿小桜集乳所＝小桜農協が農協構内に新設。



【園部集乳所】

【吉恵集乳所】

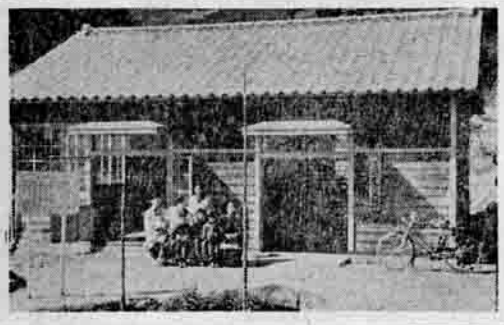
四部落一組合に共同集荷所

共同集荷所は、農産物の集荷・選別・検査・荷造り・出荷等を共同化することによつて、農産物の品質や規格を統一して、その商品価値をたかめ、市場の信用を確保するとともに、出荷販売のコストを切り下げて有利な販売を目的とするもので、わが町ではつぎの五カ所に設置された。

○稲子共同集荷所
稲子部落が造る。建坪二〇坪、経費四十三万八千円。

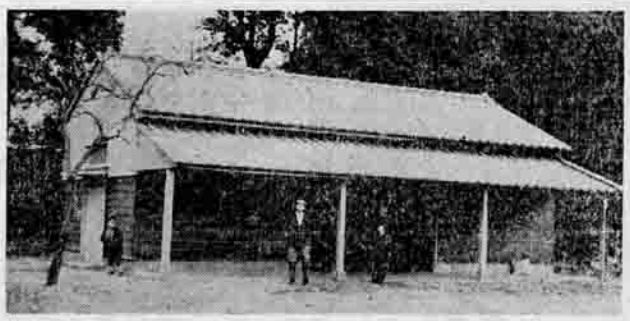
○小幡梨組合共同集荷所
小幡梨組合が小幡部落に新築。建坪三〇坪、経費六十五万円。

○一之沢共同集荷所
一之沢部落が造つたもので、建坪二〇坪、経費四十六万円。



（写真は一之沢共同集荷所）

○戸の内共同集荷所
林地区戸の内部落が新築。建坪二四坪、経費四十九万三千円。
区長久家泰明さんが中心となつて活潑に利用している



（写真は戸の内共同集荷所）

○眞家山根共同集荷所
真家山根部落がこの部落の特産である柿および野菜の集荷を目的に設置したもので、建坪三二坪、工費六十六万四千円
（施設の照ご二ページにつづく）

ウスプルンを配布

例年のとおり水陸稲種子の共同消毒用として、ウスプルンをただであげますから、部落共同で支所よりうけて使用して下さい。三月下旬に支所まで送ります。（経済課）

勝田自衛隊來援

勝田自衛隊の竹内弘三二尉以下十六名の施設隊員は、町の要請でブルトーザー二台をもつて、統合小幡小学校の校庭整地に応援に来られた。この作業隊は三月二十六日から四月二十五日まで一カ月間の予定で小幡公民館にとまつて作業に従事される。

春

○花見どきになると、寒さず、スリかつ払いが増加します。出かけるときの戸じまり、火の用心、出た時は懐中物に注意し、子太者や不良と思われる者には近よらないようにしましよう。もし被害をうけたらすぐに警察にとどけましよう。

○夏になつて、噴ム機だ、ほうきだとさわぐまえに、今のうちにカやハエを退治しましよう。手数も経費も十分の一ですみます。

○ムリはケガのもと。修学旅行も遠足も休養を忘れた日程は、食中毒や伝染病を起すもとになります。

春雨

春雨や　ゆるい下駄借す　蕪村
奈良の宿
はる雨や　猫に踊を　一茶
をしえる子

町税の延滞金徴収は三十四年度から

前号の投書欄で、町税延滞金および延滞加算金は、明年度より徴収すると回答いたしましたが、もう一年猶余すべきだとの意見もあり、最近の納税成績は皆さんの深いご理解とご協力で大へんよくなり、三十二年度は九十パーセントをこす見透しもつき、滞納繰越分も良好な納税成績ですから、もう一年延期してその間に滞納のある方はすつかり整理していただくことにいたします。

そしてこれからは絶対に滞納をなくし、延滞金のような余分な負担をしないよう、納税貯蓄組合への加入をおすすめいたします。（税務課）

三三年度町予算 一億一七五一万円

十八日予算町議会おわる

八郷町議会定例会は二月十二日より全十八日まで七日間の会期でおこなわれ、三十三年度予算など十三議案が上程審議されたが、いづれも原案とおり可決された。附議されたおもな議案はつぎのとおり

○八郷町公民館設置管理等に関する条例の全部を改正する条例。本館および分館を設置することになつた。

○八郷町社会教育委員条例の一部を改正する条例。十五名を二十名に改めた

○昭和三十一年度八郷町歳入歳出決算・同年度各種特別会計決算の認定。

○昭和三十三年度八郷町歳入歳出予算＝歳出入とも一億一千七百五十一万円ときまつた。

○昭和三十三年度国保特別会計予算＝歳出入二二〇八万円ときまつた。

（新年度予算の内容は次号でくわしくお知らせする予定です）

有畜農改善モデル施設

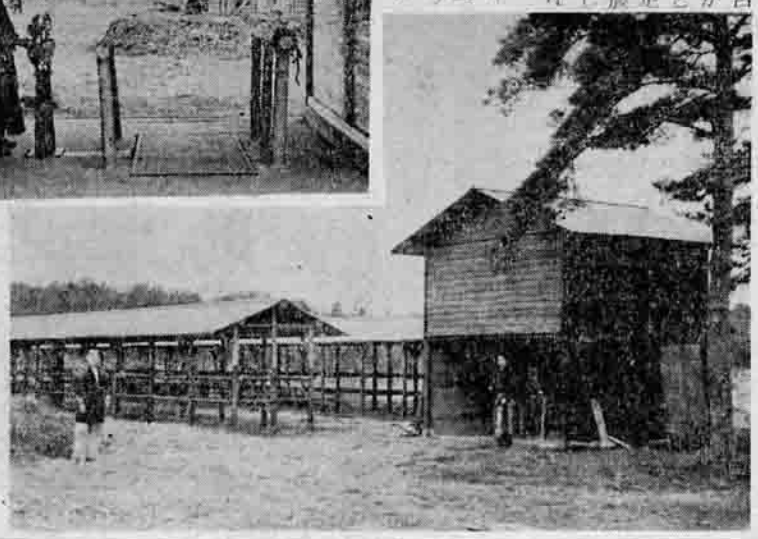
和牛肥育共同施設など四種目

これからの有畜農業は、飼料の自給・飼養管理技術の向上・協同態勢・生産物販売の見とおしなど経営の安定をはかる方策が必要で、家畜を農業経営の中に完全にとけ込ませて、畜産物相場のわづかな変動で経営をおびやかされることのない安定した有畜農業を確立しなければならない。

この様な対策の一貫としてつぎの施設が実施された。

○和牛肥育共同施設

園部農協が四十九万円を投じて新谷部落に施設したもので、牛衡器（はかり）と牛のけい留所を主体としている。園部農協はこれから組合員に和牛の肥育を奨れい指導し、肥育牛の共同販売をおこなう計画で、組合員も大きな期待をもつて素牛の手あてをはじめている。



（上）牛衡器（下）施設の全景

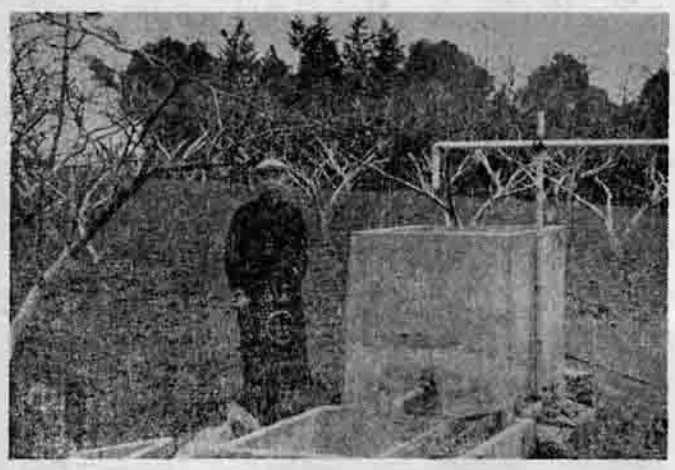
果樹園経営改善施設

園部の柿、小幡の梨など当町の果樹栽培は前から見るべきものがあつたが、最近は全町にわたつて果樹栽培熱が高まり、この一両年に十数町歩の新植が見られており、つぎの三モデル施設は当町の果樹園経営に大きな役割りをはたすものと期待される。

○園部果樹園経営モデル施設 大字真家の本多文雄、本多克巳両氏の柿畑一町八反に経費七十八万円を投じて、石垣積みの土壌保全・山よりの出水を貯水したかんがいと薬剤撒布の施設を行つたもの

○小幡果樹園経営モデル施設 大字上青柳の木崎真氏の梨園五反歩にかんがいと薬剤撒布の施設を施し、傾斜地の荒れた栗山五反歩を開墾整地して柿を新植したもので、所要経費は五十一万円。

○竜の口果樹園経営改善施設 林地区竜の口の大久保祥介・飯村喜一両氏の梨園などに、共同薬剤撒布施設を施したものである。



（上）園部のモデル柿園

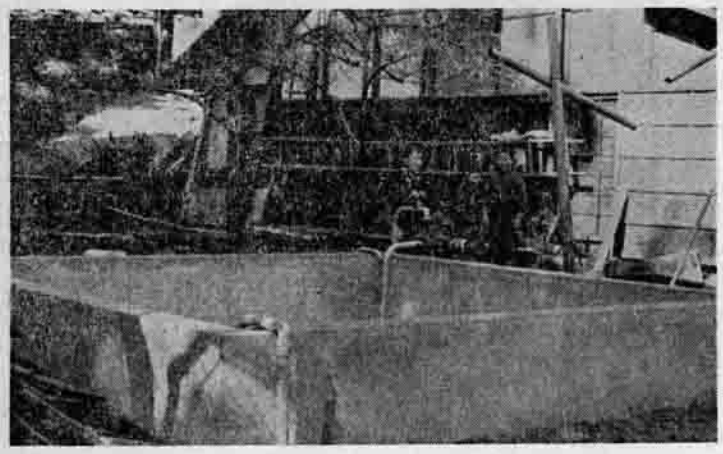
普通畑経営改善施設

小山田部落の藤代和夫氏の経営する普通畑にスプリンクラーで撒水するかんがい施設を施したもので、普通の堀井戸を水源として大貯水槽に貯水し、これからポンプで圧力を加いて送水する。水源が普通井戸であること、かんがい用水に牛の尿を混入利用する仕くみ、牧草のかんがい栽培の成果などが、この施設で注目される。

工費は六十三万円。

半田の土地改良

小桜地区半田部落の人たちが土地改良区を設立し、恋瀬川より揚水して約十五町歩の水田にかんがい施設をしたもので、理事長は原田伝左衛門氏、工費百十八万円。

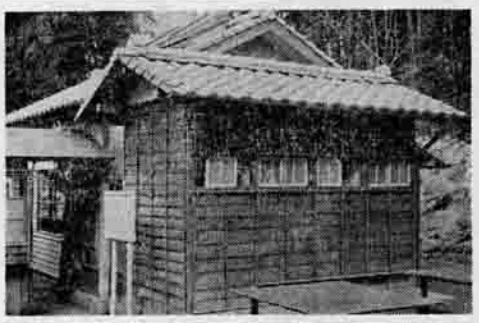


（かんがい用貯水槽）

生活改善展示施設

八郷町が板敷山大覚寺の境内に施設したもので、台所・風呂場・天日湯わかし・自動給水施設・改良便所などが出来ており、大覚寺を会場として行われる青年団、婦人会などの研修会に利用して展示の効果をねらうもの。

所要工費は七十四万円。



土地調査研修施設

町が町内青年に土地測量土壌調査などの技術研修のため、つぎの器材を設備した。

平板測量器具一式　八組

土壌調査器具一式　八組

青年研修キャンプ

町の青年たちに研修の場を与えることを目的として、八郷町が筑波の山麓湯袋高原に施設したもので炊事場・風呂場等生活改善展示施設も附設してあり、三十名までの宿泊研修ができる。

農閑期に俵あみ

金指部落の小松崎正之さんを中心とした青年たちは、冬期の作業に米俵あみを申しあわせ、三ケ所の煙草乾燥場を作業場として毎夜一人で二俵を目標に集合作業をつづけているが、間もなく予定の三千俵ができあがるそうだ。できた俵は農協をとおして、一俵六〇円で販売できるので、十八万円の収入というわけ。

このまじめなグループはつぎの十五名。

小松崎正之、関口和昭、磯山一夫、磯山操、河原場利一、小松崎英雄、中之谷功中之谷昭夫、小松崎庄一、小松崎たい、島田三郎、島田利雄、小松崎暁春、菊地克巳、関口直之。

○自給養豚共同施設 芦穂農協および園部農協がとりいれた。

施設の内容は種豚を所有して繁殖した子豚を貸付け、豚の飼育密度を高め、一面いも類磨砕機、サイロ型枠動力チヨツパーなどを備付けて自給飼料を調製使用して飼育費を引き下げ、生産した肉豚の共同販売を実施しようとするものである。

○飼料自給促進施設 瓦会稀農組合が実施。

なおこの外有畜営農共同施設としてつぎのようなものが実施された。

○共同育雛所 小桜農協が農協構内に施設。建物一棟六坪を新築、それに電熱育雛器一台、バタリー育雛器二台を備付けたもので、一回に五〇〇羽の育雛が出来る

○飼料調製施設 柿岡酪農組合が実施。サイロ型枠一組、カツター一台を備付け、組合員が共同利用するもの。

猪捕獲柵

近年筑波山麓のいのししの繁殖ははなはだしく、当町内で昨年12月1日以降61頭がつかまつたが、まだまだ横行して、その被害は少なくない。この捕獲柵は小山田と猪内の両部落に設置された。所要経費5万4千円。

（写真は小山田部落の捕獲柵）

瓦会地区生活改善実践事項

瓦会地区公民館（館長桜井浩蔵氏）では、昨年中八郷町ではじめて生活改善の申し合せをおこない、この運動推進に先べんをつけたが、その後さらに申し合せ事項に検討を加えて、最近改めて「実践事項」を発表した。

つぎにそのおもなものを紹介しよう。

○出産について

❶出産見舞の金品は全廃を原則とするも、最大限長男長女に止めること。❷産じよく床上祝は廃止すること❸節句祝は長男・長女とすること。但し近親者のみとする。❹はま弓、掛軸は全面的に廃止すること❺七五三祝は近親のみとすること

○病気見舞について

❶病気見舞は重体の場合とすること（但し入院などの場合は代表者を以て見舞うこと）❷快気祝は廃止する

○葬儀について

❶瓦会地区内の一般悔届者は届のみとし会食はせぬこと。❷香典返しは廃止し区内礼状も廃止すること。❸花輪及び生花は子供一同にて一対のみとし他は遠慮すること。❹遠使いは出来る限り書面を以てかえ、ごく近親者のみ使いとすること。❺区内の使いは従来の習わしを改め近親者のみとすること。❻まき銭は廃止すること。❼各区とも共同葬具の設置を明すること。❺里親の葬儀は代表者を立てて、悔みをたすこと、但し忌中払いは最小限に遠慮すること。

○農繁期休業日

①旧四月一日より六月三十日までの間毎月一日・十日・二十日を休日とすること。

○農繁期手伝のこと

当家に病人又は災害があつて農耕作業のおくれている場合は、班長の責任において適当に対処すること。